

令和5年度

事業報告書及び決算報告書

自 令和 5年 4月 1日  
至 令和 6年 3月31日

公益財団法人千歳青少年教育財団

## 目 次

令和5年度事業報告書	1
I 公益目的事業	2
◇ 教育事業	2
1 学習講座開設事業	2
2 社会教育関連事業	5
3 教育機関支援事業	6
◇ 水族館管理運営事業	7
1 水族館管理運営事業	7
2 年間パスポート会員の加入促進	15
3 情報提供活動	16
II 役員に関する事項	18
III 職員に関する事項	19
IV 理事会・評議員会の開催状況	20
1 理事会	20
2 評議員会	21
令和5年度決算報告書	23
I 貸借対照表	25
II 正味財産増減計算書	26
III 財務諸表に対する注記	30
IV 財産目録	35
V 収支計算書	38
VI 収支計算書に対する注記	53

令和5年度監査報告書

参考資料

# 令和5年度事業報告書

令和5年度において、公益財団法人千歳青少年教育財団は、千歳市及び北海道における社会教育の振興に寄与することを目的に、青少年の健全育成を図るため必要な教育事業を行うとともに、水族館管理運営事業を計画に基づき実施しました。  
以下、各事業の概要について報告します。

令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が第5類感染症とされ、アフターコロナとなったことから、これまで実施の見送りや縮小としてきた各種事業を、感染症予防に十分注意を払いながら、ほぼコロナ前の事業内容に戻して実施しました。

『教育事業』については、千歳水族館学習事業の「サーモン・ツアー」は、4年ぶりに水族館で1泊して実施し、夏休み自然体験教室も国立日高青少年自然の家に宿泊して実施しました。

ジュニア・リーダー及びシニア・リーダー活動事業では、子ども会活動の中心的な役割を果たすジュニア・リーダー講習会やシニア・リーダー研修会のほか、各リーダー交流会などを実施しました。

また、集団生活を通じて子どもたちが団体生活の規律や自立を身につけることを目的とした夏休み自然体験教室や冬休み体験教室のほか、ハスカップ収穫体験や美々川カヌー体験などの体験学習を実施しました。

社会教育関連事業では、千歳市子ども会育成連合会との共催事業として「緑の村キャンプ大会」を、4年度はデイキャンプとしていましたが、4年ぶりに宿泊キャンプとし、「ちとせの子どもクリスマス集い」と「ちとせっ子雪あそび」も、制限なく実施しました。

教育機関支援事業では、総合的な学習などに対応したサケ稚魚放流体験をはじめとした多様な学習活動への協力や学芸員の講師派遣などとともに、職業体験やインターンシップ、博物館学芸員実習の受入れを実施しました。

次に、『水族館管理運営事業』については、常設展示では、サケ科魚類を中心とした水槽展示や国内随一の千歳川護岸利用の水中観察ゾーンをメインに、アメリカミンクやカイツブリなど千歳川で見られる哺乳類や鳥類の展示頭数を増やすなど充実を図りました。また、「寿司」をテーマとする夏季企画展をはじめ、グラスツリーによる発眼卵の展示、水族館職員の企画による紅白魚合戦など様々な展示も実施しました。

体験学習及びイベントでは、バックヤードツアーやサケ稚魚放流体験のほか、クリスマスやお正月など季節にちなんだ参加型のイベントを実施しました。

これらの結果、水族館の令和5年度入館者数は、記録的なサケの遡上により、28万8千人の入館者を記録した令和4年度には及ばなかった(6.4%減)ものの、道の駅のリニューアルによるサーモンパーク全体の集客効果の高まりもあり、目標を上回る269,716人となりました。

また、年間パスポート会員の加入については、個人会員は7,426人、法人会員は115団体となり、いずれも前年度実績との比較では減少となりましたが、年度の目標を達成することができました。

最後に、令和5年度の収支決算においては、公益目的事業会計及び法人会計を合わせた事業活動収支の部については、収入が272,514,879円に対して、支出が245,424,585円、投資活動収支の部については、投資活動収入21,891,454円に対して、投資活動支出が48,886,851円、財務活動収支の部については、財務活動収入0円に対して、財務活動支出が0円となり、合算すると収入総額は294,406,333円、支出総額は、294,311,436円となります。これにより、差引き94,897円が当期収支差額となり、前期繰越収支差額104,010円を加えた198,907円が次期繰越収支差額となりました。

以下、事業内容及び収支決算の詳細は別紙のとおりです。

# 事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

## I 公益目的事業

### ◇ 教育事業

定款第4条第1項第1号及び第2号に掲げる事業を、次のとおり実施した。

#### 1 学習講座開設事業

##### (1) 千歳水族館学習事業

###### ア サーモン・ツアー

水族館に宿泊しながらサケの生態や食文化などについて体験することを目的に、9月30日(土)～10月1日(日)、小学4年生から中学1年生23名とシニア・リーダー「つばさ」の8名が参加し実施した。初日はサケの解体を見学した後、ちゃんちゃん焼きなどの夕食作りや消灯後の水族館見学、偏光メガネの作製、謎解きなどを行い、翌朝は水族館周辺の千歳川沿いを歩き、偏光メガネを使用してサケの遡上などを観察した。

###### イ サケふるセミナー

サケの採卵や水生生物の飼育に関する体験プログラムを合計8回実施し、延べ363名が参加した。実施内容は次のとおり。

6月 4日(日)	ミニ水族館作り	18名
6月11日(日)	ミニ水族館作り	18名
9月24日(日)	サケの採卵体験	57名
10月 9日(月・祝)	サケの採卵体験	58名
10月21日(土)	サケの採卵体験	59名
11月 5日(日)	サケの採卵体験	54名
11月23日(木・祝)	サケの採卵体験	53名
12月 3日(日)	サケの採卵体験	46名

##### (2) ジュニア・リーダー活動事業

###### ア ジュニア・リーダー講習会

子どもたちによる子ども会活動の活性化を目指し、活動の中心的な役割を果たすジュニア・リーダー育成のための講習会を前期と後期に分けて各2回開催した。参加者は受講状況に合わせ初級・中級・上級に分かれ、創作活動やレクリエーションの実践などについて学んだ。

前期講習会は4月29日(土・祝)、9月10日(日)に北ガス文化ホールにおいて、延べ14名のシニア・リーダーを講師として開催し、計28名が参加した。

後期講習会は、1回目を12月16日(土)から17日(日)の1泊2日でネイパル深川において、2回目を2月18日(日)北ガス文化ホールにおいて、延べ12名のシニア・リーダー「つばさ」を講師として開催し、計24名が参加した。

###### イ ジュニア・リーダー交流会

10月29日(日)に開催された千歳水族館のハロウィンイベントにおいて、講習会以外でジュニア・リーダーが集い交流する場として開催した。イベントを支援する5名のシニア・リーダー「つばさ」とともにジュニア・リーダー13名が参加。仮装してイベント当日の準備から実施までを体験し、リーダー活動について実践的に学ぶとともに、ジュニア・リーダー同士の交流を深めた。

(3) 千歳市シニア・リーダー「つばさ」活動事業

ア 石狩管内地域子ども会シニア・リーダー研修会（不参加）

11月4日（土）江別市において、管内の子ども会やリーダーが参加する研修会が開催されたが、参加できるシニア・リーダー「つばさ」のメンバーがおらず、不参加となった。

イ 千歳市シニア・リーダー「つばさ」研修会

3月16日（土）から17日（日）の1泊2日で国立日高青少年自然の家において、シニア・リーダー「つばさ」の13名が参加した。レクリエーションやゲーム、各種行事についての企画立案や運営方法などを学び、互いに交流しながら親睦や絆を深めることができた。

ウ シニア・リーダー交流会

① ボランティアセミナー

5月20（土）から21（日）の1泊2日で国立日高青少年自然の家において、ボランティア活動の実践力を身に付けるセミナーが開催された。シニア・リーダー「つばさ」から高校2年生2名が参加し、他地域のリーダー等と共に講義や演習を通してボランティア活動の知識や技術を学んだ。

② 北海道地域子ども会リーダー研修会

道内の中高校生のリーダーが、10月7日（土）～9日（月・祝）の3日間、国立大雪青少年交流の家において開催された「北海道子どもキャンプ」の活動を支援した。シニア・リーダー「つばさ」から高校2年生と3年生の各1名、中学3年生1名の計3名が参加して、日頃の活動の成果を発揮することにより、異年齢交流の促進やリーダーとしての資質向上を図った。

エ シニア・リーダー「つばさ」わくわく体験教室

9月30日（土）に千歳水族館で開催したサーモン・ツアーにおいて、シニア・リーダー「つばさ」のメンバーが講師となり「偏光メガネ」の作り方について、参加者に指導した。日頃の活動の成果を発揮して、分かりやすく楽しい説明や指導を実践し、リーダーとしての資質向上を図ることができた。

オ 千歳水族館学習事業・社会教育関連事業・町内会事業への支援活動

シニア・リーダー「つばさ」の活動で養った経験を生かし、青少年育成に関わる支援活動を行った。千歳水族館の学習事業に関連した5事業に延べ23名、4町内会の7事業に延べ21名が参加し事業を支援した。

(4) 夏休み自然体験教室 ～日高編～

8月8日（火）から9日（水）の1泊2日で国立日高青少年自然の家で自然体験を通して、団体生活の規律を身に付けることを目的に、小学4年生から中学1年生まで24名とシニア・リーダー「つばさ」の7名が参加する体験教室を開催した。増水のため沙流川でのラフティング体験は中止としたが、ゲームやスポーツレクリエーション、野外炊事でのカレー作りなど、時間や規律を守り互いに協力しながら実施できた。

(5) 体験学習

ア キウス周堤墓群見学&ハスカップ収穫体験

千歳の歴史や市内の特産物を学ぶことを目的に、7月1日（土）、小学1年生から大人まで21名とシニア・リーダー「つばさ」の2名が参加した。ボランティアガイドの解説で世界遺産に登録されたキウス周堤墓群を見学後、千歳市埋蔵文化財センターで職員による施設案内や遺跡クイズを行った。また、ハスカップ農園では収穫最盛期のハスカップ摘み取り作業を体験し、その栽培に至る歴史や食べ方などを学び、千歳の歴史、特産物について理解を深めることができた。

イ 美々川カヌー体験

千歳近郊の豊かな自然を体感することを目的に、10月9日(月・祝)、小学4年生から中学2年生まで17名、シニア・リーダー「つばさ」の2名が参加して、美々川においてカヌー体験を実施した。美々川の緩やかな流れの中、カヌーの操縦に苦戦しつつ協力しながら上流へ向かい、真っ赤な婚姻色のベニザケを見るなど、身近にある貴重な環境や生き物を体感することができた。

(6) 冬休み体験教室

国立日高青少年自然の家において、集団宿泊生活を通して子どもたちの自立と精神的成長を促すことを目的に開催した。1月8日(月・祝)から10日(水)の2泊3日で、小学4年生から中学2年生まで25名、シニア・リーダー「つばさ」5名と「つばさ」OB1名が参加して、スキー教室や班対抗でのスポーツレク、七宝焼きのキーホルダー作りなどを行い、互いに協力しながら活動した。

## 2 社会教育関連事業

### (1) 千歳青少年育成推進員

市内の地域における児童の健全育成対策及び子ども会等青少年育成活動の推進を図るため、令和4年6月1日から令和6年5月31日までの2年間、「千歳青少年育成推進員」として65名を委嘱しているが、令和5年度は新たに4名が加わり69名の推進員が、社会教育関連事業や地域の子どもたちの活動に協力した。

### (2) ラジオ体操講習会（千歳市子ども会育成連合会 共催事業）

夏休みの前に正しいラジオ体操の指導方法を学ぶため、NHKラジオ・テレビ体操で指導されている岡本美佳氏、杉井勇介氏を講師に迎え、7月2日(日)に千歳市立日の出小学校体育館において開催した。一般参加者やスポーツ推進員、青少年育成活動の支援者等54名が参加してラジオ体操の目的や指導法、その正しい形を学んだ。

### (3) 緑の村キャンプ大会（千歳市子ども会育成連合会・千歳市シニア・リーダー「つばさ」共催事業）

野外活動や宿泊生活を通して、協力・助け合いの精神を養うとともに、地域や学校を越えた子ども同士の友情を深めることを目的に、青葉公園ピクニック広場において開催した。町内会主催は7月29日(土)のデイキャンプ、千子連等主催は29日(土)から30日(日)の1泊2日で開催し、2町内会の幼児から大人まで24名と、小学4年生から中学3年生まで29名、千子連等の支援者・指導者38名、シニア・リーダー「つばさ」の11名が参加して、互いに協力し合い、友情を深めることができた。

キャンプ大会の開催にあたっては、千歳市環境整備事業協同組合から、キャンプファイヤー用の薪の提供を受けた。

### (4) ちとせの子どもクリスマスの集い（千歳市子ども会育成連合会・千歳市シニア・リーダー「つばさ」共催事業）

クリスマスにちなんだ創作活動やレクリエーションを通じて相互の親睦を深めることを目的に、12月10日(日)、千歳市立千歳第二小学校体育館において開催した。市内の小学1年生から中学1年生まで45名が参加して、シニア・リーダー「つばさ」が中心となり松ぼっくりツリー作りやダンス、キャンドルサービスなどを行った。

### (5) ちとせっ子雪あそび（千歳市子ども会育成連合会・千歳市シニア・リーダー「つばさ」共催事業）

冬季に子どもたちの戸外での運動を促進し、競技を通じて相互の交流や友情の輪を広げることを目的として、2月4日(日)、サーモンパークイベント広場において班対抗の雪中レクリエーションを開催した。市内の小学1年生から中学2年生まで、計82名が参加して、シニア・リーダー「つばさ」が中心となり障害物競走や爆走チューブリレーなどの5競技を行い、班の仲間と協力しながら得点を競い合った。

### 3 教育機関支援事業

#### (1) 総合的な学習などへの協力

千歳市内の幼稚園及び小・中学校、大学等の千歳水族館における学習活動に協力し、合計31回、延べ1,395名を受け入れ、「サケ稚魚放流体験」、「採卵と人工授精体験」、「アイヌ文化学習」、「水生生物観察会」などを実施した。また、市外の小・中・高等学校、大学については延べ70校、4,699名を受け入れ、研修を実施した。

学芸員が直接学校などへ出向いて講義する講師派遣については、市内の小学校及び幼稚園10施設、延べ1,114名に対して「千歳川の生き物」や「トバ作り体験」、「サケ稚魚放流体験」、「サケのふ化観察学習」、「サケ皮クラフト」などのテーマで15回実施した。また、公立千歳科学技術大学の生物学入門講座を1回実施した。

社会教育施設への協力については、市立図書館事業「青葉の森の水族館」事業において、5月16日(火)から28日(日)にかけて移動水族館「サケと金魚とメダカたち～小さな魚たちの小さな水族館～」の展示協力を行い、5月21日(日)には「かわいい金魚のナイショの話」と題した講演会を実施した。また、9月23日(土・祝)国立アイヌ民族博物館ウポポイにて開催された「サケウィーク」事業において、マレク漁のサケ提供を行い、「サケ-謎に満ちた生命の旅」と題した講演会を実施した。

#### (2) 職業体験への協力

中学生を対象とした職業体験、ならびに大学や専門学校対象のインターンシップ及び博物館学芸員実習の受入れを実施した。職業体験では、千歳市内の3中学校から計9名の生徒を受け入れた。インターンシップは1大学2名、学芸員資格取得のための博物館実習は5大学計6名を受け入れた。

#### (3) 「サケ稚魚による子どもたちの交流事業」への協力

千歳中央ライオンズクラブと岡山の西大寺ライオンズクラブが主催する、千歳市内小学校と岡山市内小学校とのサケを介した相互交流事業に協力した。

12月に千歳中央ライオンズクラブが岡山市にサケ卵を届け、3月の放流会には岡山から小学校の代表児童が参加して、祝梅小学校の代表児童とともにサケ稚魚の放流を行った。  
(提供：サケ卵500粒)

12月26日(火)： 岡山市にサケ発眼卵出発へ向けてサケ使節団結団式  
3月22日(金)： 合同放流会「サケ旅立ち集会」・千歳川へサケ稚魚放流

#### (4) 各種生涯学習関連事業への協力

##### ア こどものマチ「Jr. Chitose2023」

8月26日(土)に千歳アウトレットモール・レラで開催された「こどものマチ Jr. Chitose2023」において、投網体験ブースを出展した。

##### イ しゃけまるウィーク

11月3日(金・祝)～12日(日)まで、北海道日本ハムファイターズがエスコンフィールドHOKKAIDOで開催した「しゃけまるウィーク」に、「札幌市豊平川さけ科学館」、「標津サーモン科学館」、「北の大地の水族館」と一緒に協力した。

「しゃけまる」のグッズ販売会場にサケの生態に関する解説パネルなどを展示した他、11日(土)と12日(日)には、出前水族館やサケ皮のクラフト体験なども実施した。



## ◇ 水族館管理運営事業

定款第4条第1項第3号に掲げる事業を、次のとおり実施した。

### 1 水族館管理運営事業

#### (1) 常設展示

##### ア 水槽展示

サケ科魚類を中心に、淡水・汽水域に生息する水生生物約100種を水量266<sup>ト</sup>の大水槽をはじめ大小約40基の水槽で展示。国内外の淡水魚類を中心に、哺乳類のアメリカミンクや鳥類のカイツブリ、甲殻類、サンショウウオやカメなどの両生・は虫類や水生植物など、河川生態系を構成する生物種を幅広く展示し、生物の多様性や水生生物への興味関心を深めた。

##### イ 体験コーナー

ウグイ属やチョウザメ類を中心とした全面アクリルのタッチプールや、ドクターフィッシュ(ガラ・ルファ)の体験水槽、開放的なカイツブリのドーナツ型流水水槽などにより、来館者が水辺の生き物をより身近に感じることができる場を設けた。

##### ウ 大型スクリーン解説映像

千歳川を中心に撮影したサケの生活史や、さけ・ます人工ふ化放流事業などについて、およそ100インチの映像で解説。映像は2つのブースで上映し、日本語だけでなく英語の音声解説と繁体字、簡体字の字幕により、海外からの来館者にも対応した。

##### エ 水中観察ゾーン

千歳川の護岸を利用した水中観察施設において、サケの生態や水中観察窓における観察記録などに関する解説コーナーを設置した。DVDやコンピュータを用いた映像機器なども利用し、千歳川の生物やその営み、環境の変化などについても紹介し、より深い理解を図った。

##### オ なるほど！？サーモンルーム(展示・学習ゾーン)

サケと人との関わりについて、サケ漁の歴史や資源増加を図るための人工ふ化放流事業の歴史、日本各地の伝統的なサケ料理法や様々なサケ料理のレシピなどを中心に、パネル展示やパソコンなどを利用して解説。また「千歳アイヌのサケ文化」エリアでは、パネルや動画、実物の漁具を使った「触れるマレク」などの展示を通じて、千歳におけるアイヌ文化とサケの関わりについて紹介した。

##### カ 学習室

液晶プロジェクターや50インチプラズマディスプレイなどの映像機器を設置し、稚魚放流体験の解説、採卵実習など各種体験教室の場として使用した。また幼稚園や学校など団体の見学時における講話や雨天時の昼食場所などのほか、各団体における会議の利用など、幅広い活用を図った。

## (2) 企画展示

### ア 企画展示

#### ① GW特別展「水の中にも桜舞う」

4月22日(土)から5月28日(日)まで、北海道の桜の季節に合わせて、名前に「サクラ」のつく8種類の魚たちを展示した。また、年間パスポート会員限定で「サクラマス遡上日を当てよう」を開催し、100名が応募し3名が「ピタリ賞」となり、景品をプレゼントした。

#### ② イラスト展「千歳水族館からつながる自然といきもの」

6月1日(木)から7月9日(日)まで、イラストレーター nagilier(ナギリエ)氏が描いた千歳水族館の生き物を中心としたイラスト13点を展示した

#### ③ 夏季企画展「泳ぐ寿司ネタ！サケふる亭」

7月15日(土)から8月27日(日)まで、日本の代表的な食文化の一つである「すし」をテーマに、発酵して作られた「なれずし」や新鮮な魚介類を材料とする「にぎり寿司」のネタとなる生き物20種類を、生体展示とともに寿司ネタとしての特徴や歴史について紹介した。

また、8月5日(土)には「その“サーモン”どこから来たの？2023～海と日本PROJECT～」を北海道大学大学院水産科学研究院との共催で開催し、27名が参加した。北海道大学の清水宗敬教授によるサケの講話と、回転寿司の北々亭・千歳店を運営する株式会社ダブリュコーポレーションによるサケの解体実演や寿司握り体験などを通じて、食材としてのサケについて理解を深めた。

#### ④ ジオアートワークス企画展「サケの森Ⅱ～巡る命の旅～」

9月9日(土)から10月15日(日)まで、北海道を旅立ったサケ・マス類が生涯をかけて旅をする様々な地域に生息する生物をモチーフとした、9人のワイルドライフアート作家の作品83点を展示した。また、参加作家の制作過程を見学する「デモンストレーション」や「絵画教室」も実施した。

・ 齊藤健輔氏／ペーパークラフト昆虫制作

9月 9日(土) 94名

・ かきはらひとみ氏／ウッドバーニング、実演コミッション

9月17日(日) 59名

10月 8日(日) 165名

・ 武内朋之氏／ボールペン画制作と絵画教室

9月23日(土・祝) 29名

10月 7日(土) 25名

・ 佐藤忠雄氏／木彩画制作

10月14日(土) 82名

・ 齊藤卓治氏／ペーパークラフト昆虫制作

10月15日(日) 165名

#### ⑤ 海上保安庁パネル展「未来に残そう青い海！」

2月1日(木)から2月26日(月)まで、海上保安庁千歳航空基地の業務写真と海洋環境のパネルを11点展示した。また、実話に基づいた絵本「うみがめマリンの大冒険」を動画で上映した。

⑥ 写真展「野鳥・飛行機カメラマンの青史」

3月9日(土)から5月12日(日)まで、千歳市在住の角張隆正氏が2000年以降から現在までに撮影した30点の写真を展示した。

イ サケの成長過程による季節展示

① 親魚展示

サケ属親魚の産卵・遡上に合わせ、サケ属3種の回帰親魚を展示した。

- ・サケ : 9月 2日(土)～12月14日(木)
- ・カラフトマス : 9月 4日(月)～10月 2日(月)
- ・ベニザケ : 9月 5日(火)～12月 1日(金)

② 発眼卵展示

11月22日(水)から1月10日(水)まで、積み上げたシャンパングラスにサケの発眼卵を入れてクリスマスまでは「グラスツリー」、クリスマス後は「グラスタワー」として展示した。

③ ふ化観察展示

サケふるセミナーの採卵体験で得た受精卵を、実施日ごとに6水槽に分けて水中観察ゾーンにおいて、9月24日(日)から1月10日(水)まで展示し、卵から稚魚までの成長過程を観察できるようにした。

ウ 季節ごとのテーマ水槽展示

季節の行事に合わせた装飾の企画水槽を、期間限定で千歳川水中観察ゾーンに設置した。

- ・ハロウィン水槽  
10月 7日(土)～10月31日(火)
- ・バレンタイン&ホワイトデー水槽  
2月10日(土)～ 3月14日(木)

エ 企画展「紅白魚合戦」

職員が紅組と白組に分かれて、それぞれのチームで「鍋」をテーマとした展示水槽を作り、来館者によるオンライン投票で勝負を競い合った。勝利した白組に投票した方の中から抽選で5名の方に千歳水族館のグッズをプレゼントした。

- ・決戦期間展示 12月 9日(土)～12月24日(日)
- ・勝負結果展示 1月 2日(火)～ 1月10日(水)

(3) 各種体験学習及びイベント

ア バックヤードツアー

希望する団体等に、水族館の裏側探検や餌やり体験などを行うバックヤードツアーを実施し、学校や一般団体など29団体1,108名が体験した。

イ サケ皮クラフト工房

サケ皮を使ったしおりの製作を通じて、アイヌ文化の一端に触れる体験プログラムを実施し、5学校260名が体験した。

## ウ サケ稚魚放流体験

学習室に設置したサケの回遊ルートや生態等に関するパネル解説の見学後、サケ稚魚を放流する体験プログラムを、令和5年4月1日(土)から令和5年5月31日(水)まで及び令和6年3月1日(金)から3月31日(日)まで実施。期間中に延べ30,281名が参加した。また、令和5年6月1日(木)から6月30日(金)まで、学校団体のみを1,426名受け入れた。

## エ 季節のイベント・体験

飼育の日、鮭の日、クリスマス、お正月などの季節行事に合わせ、水族館をより楽しみながら見学できる参加型のイベントを実施した。

### ① 飼育の日イベント「ワクワクわーく体験」

(公社)日本動物園水族館協会が動物園・水族館の役割について広く普及啓発を図るために定めた4月19日の「飼育(419)の日」にちなみ、飼育スタッフの仕事の一部を体験するイベントを開催。4月15日(土)から16日(日)まで実施した大水槽展示魚への給餌やろ過槽掃除などの体験に、38名が参加した。

### ② 花火大会でのイベント事業

7月22日(土)は千歳市民花火大会(住吉ソフトボール場)の開催に合わせ開館時間を4時間延長し、午後5時以降はエサやりイベント「カモン・サーモン・晩ごはんだモン」を実施した。また水族館入口前で、売店グッズを販売した。

### ③ ホタルの夕べ

8月4日(金)から8月9日(水)まで、ホタルの生態や生息状況の解説とともに、2階会議室を暗室としてヘイケボタルの観察会を行い、389名が参加した。

### ④ ハロウィンイベント

10月29日(日)に、ハロウィンイベントとしてシニア・リーダーが中心となって「ゲーム&パレード」を実施し、幼児から小学生までの70名が仮装して参加した。また、入館した子ども先着307名にお菓子を配布した。

### ⑤ 鮭活イベント

11月11日(土)の「鮭の日」にちなみ、11月の週末に「鮭活」として、次の2つのイベントを実施した。

#### ・サケ皮しおり作り

11月4日(土)・25日(土)に、2階学習室でのサケの皮を使ったしおり作りを行い、92名が参加した。

#### ・サケの骨のストラップ作り

11月26日(日)に2階学習室において、サケの解剖見学の後に、繋がった肩甲骨と烏口骨うこうこつが魚の形に見える「サケのサケ」を使ったストラップ作りを行い、22名が参加した。

### ⑥ クリスマスイベント

12月中は館内にクリスマスツリーやイルミネーションなどの装飾を行い、クリスマスらしさを演出した。また、12月10日(日)から25日(月)までをクリスマスイベント期間に設定し、次の2つのイベントを実施した。

・サンタダイバーと記念撮影

12月23日(土)・24日(日)・25日(月)に、支笏湖大水槽と大水槽でのサンタダイバーによるエサやりと記念撮影を行い、延べ373名が参加した。

・オリジナルスノードーム作り体験

12月10日(日)、16日(土)に、オリジナルスノードーム作りを実施し、計27名が参加した。

⑦ 新春イベント

1月2日(火)から1月10日(水)まで新春イベント期間を設け、以下の2つのイベントを実施した。

・干支ダイバーと記念撮影

12月27日(水)及び1月2日(火)に、支笏湖大水槽での干支ダイバー(卯と辰)によるエサやりと記念撮影を行い、218名が参加した。

・来館者プレゼント

1月2日(火)の新春オープンに合わせて、来館者にオリジナルプリントのお菓子や干支サモン(辰)をデザインした限定缶バッジをプレゼントした。

⑧ 初夢プレゼント

1月2日(火)から10日(水)まで、千歳川水中観察ゾーンにおいて、水族館でかなえたい「初夢」を年間パスポート会員限定で募集した。372名の応募があり、5名の初夢を2024年中に実現することとした。

また、令和5年1月2日(月・祝)から10日(火)まで募集した初夢の応募者368名の中から、当選した4名の初夢体験に関して、次のとおり実施した。

- ・「館長と水族館を回りたい」 4月23日(日)
- ・「大水槽潜水体験」 9月6日(水)
- ・「サケ搬入体験」 11月11日(土)
- ・「サケ採卵体験」 11月26日(日)

⑨ 節分イベント

2月3日(土)に、節分イベントとして「鬼ダイバーによるエサやりと記念撮影」を実施し、126名が参加した。

オ 飼育係ちょこっと体験

土日祝日のほか、冬休みや春休みの期間に、餌やり体験やバックヤードツアーなど水族館飼育業務に関する体験を、有料にて合計8回実施し、延べ129名が参加した。

カ じゃらんnet遊び体験予約

じゃらんのWeb予約システムを利用した、大水槽のエサやり体験付きバックヤードツアーを実施。今年度からは貸切プランも設定し、延べ2,110名が参加した。

キ コイのエサやり体験

コイの展示水槽において有料のエサやり体験を、平日限定で実施し、延べ1,527名が参加した。

ク 第50回全道幼児・児童動物画コンクールの作品募集

7月1日(土)から8月25日(金)まで、サケのふるさと千歳水族館やサーモンパーク周辺の生き物を描いた動物画を募集し、19作品の応募があった。そのうちの2作品は、「日本動物園水族館協会会長賞」、「日本動物園水族館協会北海道地区代表賞」を受賞した。応募作品は9月23日(土・祝)から10月15日(日)まで、千歳川水中観察ゾーンにて展示し、9月24日(日)には、受賞者2名の表彰式を展示会場にて実施した。

ケ 千歳アイヌ文化伝承保存会のアイヌ文化発信

5月3日(水・祝)、6日(土)にサーモンパークの広場で、千歳アイヌ文化伝承保存会によるアイヌ民族の古式舞踊と伝統楽器の演奏を通して、アイヌ文化の発信に協力した。

コ 鮭の日・アイヌフェスタ

サケと関わりの深い千歳のアイヌ文化を広く紹介するため、千歳アイヌ協会・千歳アイヌ文化伝承保存会による「鮭の日・アイヌフェスタ」の実施に協力した。サーモンパークの池を利用して「チブ(丸木舟)」の展示と「マレク(回転式鉤鉚)」を使ったサケ漁の体験を実施。サーモンパークの広場において古式舞踊や伝統楽器の演奏、2階学習室ではアイヌの木彫や刺繍、子ども向けのワークショップも実施した。

また、11月11日(土)から12月24日(日)までは、令和5年度に実施されたアイヌ民族のサケを迎える儀式「アシリチェプノミ」の記録映像及び写真25点をスロープに展示した。

#### (4) 入館者の拡大推進

##### ア 団体誘致活動

北海道観光振興機構、千歳観光連盟が道内外及び海外で開催した観光プロモーション等に参加するとともに、道内5市、道外22都府県の旅行代理店に直接訪問するプロモーションを実施した。

また、市内の幼稚園、保育園、小中学校、ホテルへPRパンフレットやイベントちらし・ポスターの配布を行うとともに、近隣市町の幼稚園・保育園へは送付した。

全国の高等学校及び道内小中高等学校約6,200校に体験内容などを紹介したサケのふるさと千歳水族館のPRパンフレットを送付した。

##### ① 北海道観光振興機構プロモーション事業への参加

###### <道内>

- 6月 北海道観光振興機構通常総会・観光交流会 札幌市
- 7月 北海道修学旅行現地研修会・意見交換会 札幌市

###### <道外>

- 6月 北海道観光情報交換会 広島県
- 7月 北海道教育旅行説明会・相談会 山形県
- 9月 北海道観光情報交換会・教育旅行説明会 福岡県
- 11月 北海道観光情報交換会・教育旅行説明会 石川県・富山県
- 12月 北海道教育旅行説明会・相談会 愛知県・大阪府・神奈川県・東京都
- 2月 北海道観光情報交換会・教育旅行説明会 兵庫県

##### ② 千歳観光連盟プロモーション事業への参加

###### <海外>

- 10月 「タイ・シンガポール」観光プロモーション事業 タイ・シンガポール

##### ③ 旅行代理店プロモーション

###### <道内>

- 6月 小樽市
- 8月 札幌市
- 3月 旭川市・釧路市・帯広市

###### <道外>

- 5月 岡山県・香川県・徳島県・愛媛県
- 6月 静岡県・広島県
- 7月 秋田県・福島県
- 9月 福岡県
- 11月 鹿児島県・富山県・石川県・福井県
- 12月 東京都
- 1月 奈良県・山梨県・和歌山県・宮崎県
- 2月 大阪府・三重県
- 3月 茨城県・栃木県

イ 情報媒体を利用した広告宣伝活動

Webメディアを利用したタイムリーな情報提供や、テレビ、ラジオ、雑誌などのメディアを有効利用した広告宣伝を実施するとともに、ホテル、観光施設等にポスターの掲示やPRパンフレットの配置を行った。

テレビ・ラジオやイベント等を通じた広告宣伝・PR活動は、次のとおり行った。

① テレビ・ラジオCM

放送内容	放送機関	放送期間	本数	合計
GW特別展	テレビ	4月20日(木)～4月30日(日)	39	299
夏季企画展	テレビ	7月12日(水)～7月31日(月)	43	
秋季PR	テレビ	9月9日(土)～9月23日(土・祝)	41	
	ラジオ	9月20日(水)～9月30日(土)	20	
アノワスタ	テレビ	10月27日(金)～11月5日(日)	22	
年賀挨拶	ラジオ	1月1日(月)～1月10日(水)	3	
特別企画	ラジオ	3月13日(水)～3月27日(水)	2	
稚魚放流	テレビ	3月18日(月)～3月31日(日)	63	
	ラジオ	3月18日(月)～3月31日(日)	20	
水族館紹介	ラジオ	4月5日(水)～5月31日(水)	46	

② PR活動

放送機関等	番組名	本数	合計
テレビ (配信)	どさんこワイド朝、どさんこワイド179、今日ドキッ!、グッチーな!、イチモニ!、イチオシ!!、ビビっとキタっしょ!、みんなテレ、みんなテレ増刊号、FNN LIVE NEWS、スイッチン!、ZIP!、ヒルナンデス!、ゴゴスマ、カミナリのチャリ旅! シーズン7、北海道生き物保全プロジェクト、中川翔子の「ヲ」 《画像提供》 ザ!鉄腕!DASH!!、超無敵クラス、地球と約束～心に刻む風景～、世界の何だコレ!?ミステリー ほか	54	68
ラジオ (配信)	グッチーのGood Friday!、開局40周年記念番組「Air-g秋食べ」、Attractive Hokkaido、さっぽろ村ラジオ、恵庭e-niwa、X(旧:Twitter)ラジオ ほか	14	

ウ 多言語システムの提供

海外からの小団体旅行(FIT)に対応するため、来館者が持参のスマートフォンやタブレットにインストールした光IDシステム“LinkRay”を用いて展示水槽や生物についての解説を日本語、英語、中国語(繁体・簡体)、タイ語、韓国語の6言語での閲覧サービスを提供した。



エ 音声ガイドシステムによる解説

来館者が自身のスマートフォンやタブレットで利用できる、体験型音声ガイドアプリ「Pokke（ポッケ）」により、千歳市出身の声優・鈴木愛奈さんのナレーションでサケや千歳水族館の展示生物に関する音声ガイドを無料で提供した。

オ ネットワークカメラによるリアル映像配信

ホームページにおいて、水中観察窓及びインディアン水車の様子をインターネットによるライブ映像として配信を継続した。

カ 市内小中学生年間パスポートの無料配布

市内の全小中学生に対し年間パスポートを年度当初に無料で配布した。

キ 道の駅機能との連携強化

道の駅のスタンプラリー帳持参者に割引料金を適用し、313名の利用があった。

ク 来館者のサービス向上の取組

来館者の満足度向上を図るため、館内の売店にて、水族館のオリジナルグッズや開催中の企画展に関連した作家たちの作品やグッズなどを販売した。

(5) 千歳サケのふるさと村教授会との連携（年度末会員数 31名）

平成7年3月から当館のボランティアグループとして活動を開始。会員の1～3名が、毎日交代で館内の案内や展示解説等の活動を行うほか、当館が実施するイベント行事や展示などに支援と協力をいただいた。

2 年間パスポート会員の加入促進

(1) 年間パスポート個人会員及び法人会員募集

個人会員は、目標6,000人に対し7,311人であった。また、法人会員についても、目標100団体に対し115団体となり、何れも目標を大きく上回る結果となった。

(単位 : 人・社 : 千円)

種 別		令和5年度		令和4年度		増 減	
区 分	年会費	会員数	金 額	会員数	会員数	会員数計	金額計
大 人	1,500	6,198	9,297	6,823	10,234.5	△625	△937.5
高校生	1,500	19	28.5	23	34.5	△4	△6
小中生	500	1,094	547	1,170	585	△76	△38
計	—	7,311	9,872.5	8,016	10,854	△705	△981.5
法人	10,000	115	1,150	120	1,200	△5	△50
合計	—	7,426	11,022.5	8,136	12,054	△710	△1,031.5

### 3 情報提供活動

#### (1) 新聞連載

北海道新聞千歳恵庭版のエッセイ欄「せせらぎ」と「朝の食卓」に千歳水族館の展示生物や千歳の自然などの情報を4回掲載した。

#### (2) ホームページ・SNS

ホームページの国内アクセス件数は374,613件で、都道府県別では北海道、東京、大阪、千葉、埼玉からのアクセスが多かった。また、海外では130カ国からのアクセスがあり、多い順に台湾、アメリカ、香港、中国、韓国となっていた。また、主なSNSの投稿とフォロワー数の状況は、次表のとおりであった。

SNS名	投稿数	フォロワー数 (R6.3.31現在)
Twitter	1,108	6,234
Facebook	15	1,275
Instagram	130	3,942
LINE	14	1,450
YouTube	209	638

#### (3) サモンメール

特別展示等のイベント案内や、水中観察ゾーンの状況等をメールマガジンとして11回配信し、令和5年度末現在、登録者数は3,820名となっている。

#### (4) Wi-Fi利用

Wi-Fi利用者は累計で4,492名であったが、日本語の利用が73.4%、海外利用は英語12.0%、繁体字8.1%、韓国2.8%、簡体字2.1%であった。















# 令和5年度決算報告書



# I 貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

○総括表

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	2,477,281	1,541,819	935,462
預金	55,520,960	42,359,524	13,161,436
未収金	3,228,242	2,508,666	719,576
流動資産合計	61,226,483	46,410,009	14,816,474
2 固定資産			
基本財産			
基本財産引当資産	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
特定資産			
建物	67,306,190	68,937,855	△ 1,631,665
建物附属設備	23,474,191	27,245,904	△ 3,771,713
構築物	7,302,431	14,604,859	△ 7,302,428
什器備品	72,614	84,728	△ 12,114
退職給付引当資産	19,959,474	18,180,277	1,779,197
減価償却引当資産	78,563,800	62,290,800	16,273,000
修繕料引当資産	84,193,319	80,158,319	4,035,000
特定資産合計	280,872,019	271,502,742	9,369,277
その他の固定資産			
建物	194,116,269	203,438,102	△ 9,321,833
建物附属設備	19,770,559	22,997,591	△ 3,227,032
構築物	760,346	790,380	△ 30,034
機械装置	7,570,929	9,068,705	△ 1,497,776
什器備品	11,432,213	9,734,479	1,697,734
地下観察護岸	4	1,009,299	△ 1,009,295
電話加入権	290,984	290,984	0
出資金	20,000	20,000	0
その他の固定資産合計	233,961,304	247,349,540	△ 13,388,236
固定資産合計	524,833,323	528,852,282	△ 4,018,959
<b>資産合計</b>	<b>586,059,806</b>	<b>575,262,291</b>	<b>10,797,515</b>
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	59,058,119	45,130,751	13,927,368
前受金	78,924	153,177	△ 74,253
預り金	1,890,533	1,022,071	868,462
賞与引当金	4,964,499	4,917,502	46,997
流動負債合計	65,992,075	51,223,501	14,768,574
2 固定負債			
退職給付引当金	19,959,474	18,180,277	1,779,197
固定負債合計	19,959,474	18,180,277	1,779,197
<b>負債合計</b>	<b>85,951,549</b>	<b>69,403,778</b>	<b>16,547,771</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
地方公共団体補助金	259,012,545	251,422,465	7,590,080
千歳市出損金	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産合計	269,012,545	261,422,465	7,590,080
(うち基本財産への充当額)	( 10,000,000)	( 10,000,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	(259,012,545)	(251,422,465)	( 7,590,080)
2 一般正味財産	231,095,712	244,436,048	△ 13,340,336
(うち特定資産への充当額)	( 1,900,000)	( 1,900,000)	( 0)
<b>正味財産合計</b>	<b>500,108,257</b>	<b>505,858,513</b>	<b>△ 5,750,256</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>586,059,806</b>	<b>575,262,291</b>	<b>10,797,515</b>

## Ⅱ 令和5年度 正味財産増減計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

### ○ 総括表

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	199	200	△1	
基本財産受取利息	199	200	△1	
② 特定資産運用益	13,993	7,119	6,874	
特定資産受取利息	13,993	7,119	6,874	
③ 事業収益	122,190,824	126,883,503	△4,692,679	
教育事業収入	757,830	321,920	435,910	
水族館管理運営事業収入	119,584,494	124,929,183	△5,344,689	
体験料収入	1,848,500	1,632,400	216,100	
④ 受取会費	11,022,500	12,054,000	△1,031,500	
個人会員会費収入	9,872,500	10,854,000	△981,500	
法人会員会費収入	1,150,000	1,200,000	△50,000	
⑤ 受取補助金等	131,384,833	117,517,232	13,867,601	
教育事業補助金収入	20,947,296	20,504,298	442,998	
水族館管理運営事業補助金収入	62,975,000	70,551,000	△7,576,000	
管理費補助金収入	11,073,967	10,364,702	709,265	
特定資産取得補助金収入	1,978,651	2,192,931	△214,280	
受取補助金等振替額	34,409,919	13,904,301	20,505,618	
⑥ 雑収益	312,449	3,238,287	△2,925,838	
受取利息収入	637	505	132	
雑収益	311,812	3,237,782	△2,925,970	
⑦ 寄付金収入	0	255,000	△255,000	
寄付金収入	0	255,000	△255,000	
経常収益計	264,924,798	259,955,341	4,969,457	
(2) 経常費用				
① 事業費	266,585,934	249,737,614	16,848,320	
役員報酬	1,581,944	1,271,556	310,388	
給料手当	70,256,935	68,304,507	1,952,428	
賃金	1,532,300	1,137,860	394,440	
賞与引当繰入額	4,445,629	4,415,482	30,147	
退職給付費用	2,010,325	2,046,790	△36,465	
福利厚生費	12,805,111	12,092,029	713,082	
報償費	1,332,302	1,177,137	155,165	
会議費	25,000	17,000	8,000	
旅費交通費	2,849,106	2,626,233	222,873	
通信運搬費	928,698	940,128	△11,430	
減価償却費	30,527,286	31,293,263	△765,977	
備品費	2,376,793	2,514,299	△137,506	
消耗品費	6,089,191	7,202,278	△1,113,087	
修繕費	40,344,695	31,701,550	8,643,145	
印刷製本費	626,340	360,624	265,716	
光熱水費	28,528,393	30,287,062	△1,758,669	
使用料及び賃借料	3,168,235	2,583,601	584,634	
車両経費	2,751,858	3,517,926	△766,068	
保険料	2,094,900	1,674,977	419,923	

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
手数料	2,566,262	2,198,197	368,065	
諸謝金	271,136	231,813	39,323	
交際費	16,986	117,850	△100,864	
食糧費	517,485	308,709	208,776	
宣伝広告費	14,509,899	13,377,817	1,132,082	
イベント費	3,506,840	2,776,883	729,957	
委託料	15,567,710	15,099,284	468,426	
原材料費	265,589	203,903	61,686	
租税公課	13,396,386	8,519,346	4,877,040	
負担金	1,343,600	1,382,100	△38,500	
雑費	349,000	357,410	△8,410	
② 管理費	11,679,200	11,074,675	604,525	
役員報酬	2,385,589	2,013,410	372,179	
給料手当	3,682,170	3,627,536	54,634	
賞与引当繰入額	518,870	502,020	16,850	
退職給付費用	101,296	146,141	△44,845	
福利厚生費	1,080,985	988,299	92,686	
会議費	9,414	11,202	△1,788	
通信運搬費	7,000	10,600	△3,600	
減価償却費	487,069	509,693	△22,624	
消耗品費	41,250	51,260	△10,010	
光熱水費	1,648,058	1,740,700	△92,642	
使用料及び賃借料	728,200	587,400	140,800	
保険料	112,855	91,590	21,265	
諸謝金	595,980	514,360	81,620	
租税公課	277,714	277,714	0	
雑費	2,750	2,750	0	
経常費用計	278,265,134	260,812,289	17,452,845	
当期経常増減額	△13,340,336	△856,948	△12,483,388	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
受取補助金等振替額	1	0	1	
経常外収益計	1	0	1	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	1	0	1	
経常外費用計	1	0	1	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△13,340,336	△856,948	△12,483,388	
一般正味財産期首残高	244,436,048	245,292,996	△856,948	
一般正味財産期末残高	231,095,712	244,436,048	△13,340,336	
II 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金(指定)	42,000,000	37,000,000	5,000,000	
一般正味財産への振替額	34,409,920	13,904,301	20,505,619	
当期指定正味財産増減額	7,590,080	23,095,699	△15,505,619	
指定正味財産期首残高	261,422,465	238,326,766	23,095,699	
指定正味財産期末残高	269,012,545	261,422,465	7,590,080	
III 正味財産期末残高	500,108,257	505,858,513	△5,750,256	

# 令和5年度 正味財産増減計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

## ○ 会計区分表

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合 計	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	199	0	199	
基本財産受取利息	199	0	199	
② 特定資産運用益	13,975	18	13,993	
特定資産受取利息	13,975	18	13,993	
③ 事業収益	122,190,824		122,190,824	
教育事業収入	757,830		757,830	
水族館管理運営事業収入	119,584,494		119,584,494	
体験料収入	1,848,500		1,848,500	
④ 受取会費	11,022,500		11,022,500	
個人会員会費収入	9,872,500		9,872,500	
法人会員会費収入	1,150,000		1,150,000	
⑤ 受取補助金等	120,209,570	11,175,263	131,384,833	
教育事業補助金収入	20,947,296		20,947,296	
水族館管理運営事業補助金収入	62,975,000		62,975,000	
管理費補助金収入		11,073,967	11,073,967	
特定資産取得補助金収入	1,877,355	101,296	1,978,651	
受取補助金等振替額	34,409,919		34,409,919	
⑥ 雑収益	312,449		312,449	
受取利息収入	637		637	
雑収益	311,812		311,812	
経常収益計	253,749,517	11,175,281	264,924,798	
(2) 経常費用				
① 事業費	266,585,934		266,585,934	
役員報酬	1,581,944		1,581,944	
給料手当	70,256,935		70,256,935	
賃金	1,532,300		1,532,300	
賞与引当繰入額	4,445,629		4,445,629	
退職給付費用	2,010,325		2,010,325	
福利厚生費	12,805,111		12,805,111	
報償費	1,332,302		1,332,302	
会議費	25,000		25,000	
旅費交通費	2,849,106		2,849,106	
通信運搬費	928,698		928,698	
減価償却費	30,527,286		30,527,286	
備品費	2,376,793		2,376,793	
消耗品費	6,089,191		6,089,191	
修繕費	40,344,695		40,344,695	
印刷製本費	626,340		626,340	
光熱水費	28,528,393		28,528,393	
使用料及び賃借料	3,168,235		3,168,235	
車両経費	2,751,858		2,751,858	
保険料	2,094,900		2,094,900	

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合 計	備 考
手数料	2,566,262		2,566,262	
諸謝金	271,136		271,136	
交際費	16,986		16,986	
食糧費	517,485		517,485	
宣伝広告費	14,509,899		14,509,899	
イベント費	3,506,840		3,506,840	
委託料	15,567,710		15,567,710	
原材料費	265,589		265,589	
租税公課	13,396,386		13,396,386	
負担金	1,343,600		1,343,600	
雑費	349,000		349,000	
② 管理費		11,679,200	11,679,200	
役員報酬		2,385,589	2,385,589	
給料手当		3,682,170	3,682,170	
賞与引当繰入額		518,870	518,870	
退職給付費用		101,296	101,296	
福利厚生費		1,080,985	1,080,985	
会議費		9,414	9,414	
通信運搬費		7,000	7,000	
減価償却費		487,069	487,069	
消耗品費		41,250	41,250	
光熱水費		1,648,058	1,648,058	
使用料及び賃借料		728,200	728,200	
保険料		112,855	112,855	
諸謝金		595,980	595,980	
租税公課		277,714	277,714	
雑費		2,750	2,750	
経常費用計	266,585,934	11,679,200	278,265,134	
当期経常増減額	△12,836,417	△503,919	△13,340,336	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
受取補助金等振替額	1	0	1	
経常外収益計	1	0	1	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	1	0	1	
経常外費用計	1	0	1	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△12,836,417	△503,919	△13,340,336	
一般正味財産期首残高	-	-	244,436,048	
一般正味財産期末残高	-	-	231,095,712	
II 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金	42,000,000	0	42,000,000	
一般正味財産への振替額	34,409,920	0	34,409,920	
当期指定正味財産増減額	7,590,080	0	7,590,080	
指定正味財産期首残高	-	-	261,422,465	
指定正味財産期末残高	-	-	269,012,545	
III 正味財産期末残高	-	-	500,108,257	

### Ⅲ 財務諸表に対する注記

#### 1 重要な会計方針

##### (1) 固定資産の減価償却の方法

建物・建物附属設備・構築物・機械装置・車両運搬具・什器備品・地下観察護岸  
固定資産の減価償却方法は法定償却方法による。

##### (2) 引当金の計上基準

###### ① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

###### ② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

##### (3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込処理方式によっている。

#### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
基本財産引当資産	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
(特定資産)				
建物	68,937,855	0	1,631,665	67,306,190
建物附属設備	27,245,904	0	3,771,713	23,474,191
構築物	14,604,859	0	7,302,428	7,302,431
什器備品	84,728	0	12,114	72,614
退職給付引当資産	18,180,277	1,978,651	199,454	19,959,474
減価償却引当資産	62,290,800	18,000,000	1,727,000	78,563,800
修繕料引当資産	80,158,319	24,000,000	19,965,000	84,193,319
小 計	271,502,742	43,978,651	34,609,374	280,872,019
合 計	281,502,742	43,978,651	34,609,374	290,872,019



3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
(基本財産)				
基本財産引当資産	10,000,000	( 10,000,000)	( 0)	( 0)
小 計	10,000,000	( 10,000,000)	( 0)	( 0)
(特定資産)				
建物	67,306,190	( 67,306,190)	( 0)	( 0)
建物附属設備	23,474,191	( 23,474,191)	( 0)	( 0)
構築物	7,302,431	( 7,302,431)	( 0)	( 0)
什器備品	72,614	( 72,614)	( 0)	( 0)
退職給付引当資産	19,959,474	( 0)	( 0)	( 19,959,474)
減価償却引当資産	78,563,800	( 76,663,800)	( 1,900,000)	( 0)
修繕料引当資産	84,193,319	( 84,193,319)	( 0)	( 0)
小 計	280,872,019	( 259,012,545)	( 1,900,000)	( 19,959,474)
合 計	290,872,019	( 269,012,545)	( 1,900,000)	( 19,959,474)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
建物(特定資産)	81,583,258	14,277,068	67,306,190
建物附属設備(特定資産)	87,104,096	63,629,905	23,474,191
構築物(特定資産)	104,867,482	97,565,051	7,302,431
什器備品(特定資産)	45,183,285	45,110,671	72,614
特定資産計	318,738,121	220,582,695	98,155,426
建物(その他)	742,814,962	548,698,693	194,116,269
建物附属設備(その他)	305,234,814	285,464,255	19,770,559
構築物(その他)	12,572,850	11,812,504	760,346
機械装置(その他)	247,065,745	239,494,816	7,570,929
什器備品(その他)	51,379,776	39,947,563	11,432,213
地下観察護岸(その他)	100,929,561	100,929,557	4
その他資産計	1,459,997,708	1,226,347,388	233,650,320
合 計	1,778,735,829	1,446,930,083	331,805,746

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
(補助金)						
教育事業補助金	千歳市	0	20,947,296	20,947,296	0	
水族館管理運営事業補助金	千歳市	0	62,975,000	62,975,000	0	
水族館再整備事業補助金	千歳市	110,873,345	0	12,717,920	98,155,425	指定正味財産
管理費補助金	千歳市	0	11,073,967	11,073,967	0	
特定資産取得補助金	千歳市	140,549,119	42,000,000	21,692,000	160,857,119	指定正味財産
特定資産取得補助金 (退職給付引当金分)	千歳市	17,676,576	1,978,651	199,454	19,455,773	固定負債
市内観光施設基盤強化事業補助金	千歳市	1	0	0	1	指定正味財産
合 計		269,099,041	138,974,914	129,605,637	278,468,318	

平成27年度から補助金の内訳を正味財産ベースに変更した。

水族館再整備事業補助金には、資産取得の為の特定資産取崩収入を含めている。

(平成26年度取崩 16,040,000円、平成27年度取崩 48,000,000円)

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上及び特定資産取崩による振替額	34,409,919
経常外収益への振替額	
資産除却による振替額	1
合 計	34,409,920

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金 北洋銀行千歳中央支店	10,000,000	0	0	10,000,000
	基本財産計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産	建 物	68,937,855	0	1,631,665	67,306,190
	建物附属設備	27,245,904	0	3,771,713	23,474,191
	構 築 物	14,604,859	0	7,302,428	7,302,431
	什 器 備 品	84,728	0	12,114	72,614
	退職給付引当資産	18,180,277	1,978,651	199,454	19,959,474
	減価償却引当資産	62,290,800	18,000,000	1,727,000	78,563,800
	修繕料引当資産	80,158,319	24,000,000	19,965,000	84,193,319
	特定資産計	271,502,742	43,978,651	34,609,374	280,872,019

### 2. 引当金の明細

#### 賞与引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,917,502	4,964,499	4,917,502	0	4,964,499

#### 職員退職給付引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
職員退職給付引当金	18,180,277	1,978,651	199,454	0	19,959,474



## IV 財産目録

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
<b>(流動資産)</b>				
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	196,862
		現金釣り銭		950,000
		売上現金		1,330,419
			<現金計>	2,477,281
	預金	普通預金		
		北海道銀行千歳支店	運転資金として	707,272
		北央信用組合末広支店	運転資金として	203,874
		北洋銀行千歳中央支店	運転資金として	54,383,864
		北央信用組合千歳支店	運転資金として	4,833
		北海道信用金庫千歳支店	運転資金として	221,117
	<預金計>	55,520,960		
未収金	旅行代理店等29件	公益事業に供する入館料収入等の未収入分	3,228,242	
流動資産合計			61,226,483	
<b>(固定資産)</b>				
基本財産	基本財産	定期預金		
	引当資産	北洋銀行千歳中央支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	10,000,000
特定資産	建物	リニューアル 改修工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	67,306,190
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル 空調換気設備他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	6,479,446
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル 電気設備	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	6,215,699
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル 水槽配管工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	6,388,500
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル エレベーター工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	4,390,546
		千歳市花園2丁目312番地		
		<建物附属設備計>	23,474,191	
	構築物	リニューアル 水槽展示工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	7,302,431
	什器備品	リニューアル パネル他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	4
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル ロビーチェア他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	72,602
		千歳市花園2丁目312番地		
		Wi-Fi設備設置工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	1
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル パソコン・プロジェクター他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	4
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル 除湿器他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	2
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル 放送設備	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	1
		千歳市花園2丁目312番地		
		<什器備品計>	72,614	
	退職給付引当資産	定期預金		
		北海道信用金庫千歳支店	従業員の退職金支払に備えたもの	19,959,474
普通預金				
北洋銀行千歳中央支店		次年度以降の公益事業の設備投資のため	8,563,800	
減価償却引当資産	定期預金			
	北洋銀行千歳中央支店	次年度以降の公益事業の設備投資のため	70,000,000	
		<減価償却引当資産計>	78,563,800	
修繕料引当資産	普通預金			
	北洋銀行千歳中央支店	公益事業の修繕のため	44,193,319	
	定期預金			
北央信用組合末広支店	公益事業の修繕のため	40,000,000		
	<修繕料引当資産計>	84,193,319		
			<<特定資産計>>	280,872,019

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
その他の 固定資産	建物	水族館 建物本体(1棟) 2,981.672㎡ 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	181,794,735	
		泉沢飼育棟 (1棟) 218.4㎡ 千歳市泉沢1000番地7地先 物置等 (4棟)	管理目的使用に使用している 公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	10,189,169 2,132,358	
		千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	7	
		<建物計>		194,116,269	
	建物附属設備	水族館 給排水電灯設備他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	19,770,552	
		泉沢飼育棟 電気・給排水設備 千歳市泉沢1000番地7地先	管理目的に使用している 公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	4 3	
		<建物附属設備計>		19,770,559	
	構築物	水族館 展示水槽 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	1	
		泉沢飼育棟 飼育水槽他 (9台) 千歳市泉沢1000番地7地先	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	9	
		地下水井戸 (1台) 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	760,336	
		<構築物計>		760,346	
	機械装置	水族館 濾過機械配管装置 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	3	
		水族館 取水装置 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	7,088,830	
		水族館 動力計装設備 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	2	
		水族館 ボイラー・循環装置 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	320,893	
		水族館 展示水槽監視システム 千歳市花園2丁目312番地	管理目的使用に使用している 公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	6,953 154,245	
		水族館 テレビモニター他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	3	
		<機械装置計>		7,570,929	
		什器備品	展示水槽他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	2,034,378
			物置冷蔵庫ポンプ他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	724,756
			サケ模型 (8台) 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	8
	顕微鏡他 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	30,397	
	サモン着ぐるみ 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	887,336	
除雪機他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している		4		
パソコン他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している		6,764,496		
芳名板他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している		636,597		
電話主装置取替 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している		354,241		
<什器備品計>			11,432,213		

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	地下観察護岸	千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	4
	電話加入権	千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	290,984
	出資金	北央信用組合千歳支店	公益目的保有財産	10,000
		北海道信用金庫千歳支店	公益目的保有財産	10,000
			<出資金計>	20,000
			<<その他の固定資産計>>	233,961,304
固定資産合計				524,833,323
資産合計				586,059,806
(流動負債)	未払金	様々なまると他98件	公益事業に供する消耗品購入等の未払い分	59,058,119
	前受金	JTB他2件	公益事業に供する入館料前受け分	78,924
	預り金	新さっぽろ年金事務所 千歳市 長沼町 恵庭市 札幌南税務署	役職員の社会保険料の預かり分	1,526,738
			役職員の住民税の預かり分	204,100
			役職員の住民税の預かり分	10,900
			役職員の住民税の預かり分	25,000
			役職員の源泉所得税の預かり分	123,795
			<預り金計>	1,890,533
賞与引当金	従業員に対するもの	従業員に対する賞与引当分	4,964,499	
流動負債合計				65,992,075
(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金	19,959,474
固定負債合計				19,959,474
負債合計				85,951,549
正味財産				500,108,257
うち	一般正味財産			231,095,712
	指定正味財産			269,012,545

## V 収支計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

### ○ 総括表

(単位:円)

大 科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	合 計
中 科 目			
小 科 目			
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	199	0	199
② 特定資産運用収入	13,975	18	13,993
③ 事業収入	122,190,824	0	122,190,824
④ 会費収入	11,022,500	0	11,022,500
⑤ 補助金等収入	127,799,651	11,175,263	138,974,914
⑥ 雑収入	312,449	0	312,449
事業活動収入計 (A)	261,339,598	11,175,281	272,514,879
2 事業活動支出			
① 事業費支出	234,350,600	0	234,350,600
② 管理費支出	0	11,073,985	11,073,985
事業活動支出計 (B)	234,350,600	11,073,985	245,424,585
事業活動収支差額(A)－(B) (C)	26,988,998	101,296	27,090,294



(単位:円)

大 科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	合 計	
				中 科 目
				小 科 目
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	21,891,454	0	21,891,454	
投資活動収入計(D)	21,891,454	0	21,891,454	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	43,877,355	101,296	43,978,651	
② 固定資産取得支出	4,908,200	0	4,908,200	
投資活動支出計(E)	48,785,555	101,296	48,886,851	
投資活動収支差額(D)-(E) (F)	△ 26,894,101	△ 101,296	△ 26,995,397	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計(G)	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計(H)	0	0	0	
財務活動収支差額(G)-(H) (I)	0	0	0	
当期収支差額 (C)+(F)+(I) 【A】	94,897	0	94,897	
前期繰越収支差額 【B】	104,010	0	104,010	
次期繰越収支差額 【A】 + 【B】	198,907	0	198,907	

**V 収 支 計 算 書**  
(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

○ 公益目的事業会計

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	
							中 科 目
							小 科 目
<b>I 事業活動収支の部</b>							
<b>1 事業活動収入</b>							
① 基本財産運用収入	1,000	0	0	1,000	199	801	
1 基本財産利息収入	1,000	0	0	1,000	199	801	
② 特定資産運用収入	6,000	7,000	0	13,000	13,975	△ 975	
1 特定資産利息収入	6,000	7,000	0	13,000	13,975	△ 975	
③ 事業収入	96,947,000	18,244,000	0	115,191,000	122,190,824	△ 6,999,824	
1 教育事業収入	947,000		0	947,000	757,830	189,170	
2 水族館管理運営 事業収入	94,500,000	18,244,000	0	112,744,000	119,584,494	△ 6,840,494	
3 体験料収入	1,500,000	0	0	1,500,000	1,848,500	△ 348,500	
④ 会費収入	9,100,000	1,000,000	0	10,100,000	11,022,500	△ 922,500	
1 個人会員会費収入	8,100,000	1,000,000	0	9,100,000	9,872,500	△ 772,500	
2 法人会員会費収入	1,000,000	0	0	1,000,000	1,150,000	△ 150,000	
⑤ 補助金等収入	149,848,000	0	0	149,848,000	127,799,651	22,048,349	
1 教育事業補助金収入	24,705,000	0	0	24,705,000	20,947,296	3,757,704	
2 水族館管理運営 事業補助金収入	81,245,000	0	0	81,245,000	62,975,000	18,270,000	
3 特定資産取得 補助金収入	43,898,000	0	0	43,898,000	43,877,355	20,645	
⑥ 雑収入	51,000	250,000	0	301,000	312,449	△ 11,449	
1 運用財産利息収入	1,000	0	0	1,000	637	363	
2 雑収入	50,000	250,000	0	300,000	311,812	△ 11,812	
事業活動収入計(A)	255,953,000	19,501,000	0	275,454,000	261,339,598	14,114,402	

備	考
基本財産利息	
特定資産利息	
教育事業参加者負担金収入	
入館料収入等、有料入館者数 176,697 人	
個人会員 販売数 7,311名	
法人会員 販売数 115件	
特定資産取得支出充当	
運用財産利息	

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	
							中 科 目
							小 科 目
2 事業活動支出							
① 事業費支出	234,035,000	14,416,000	0	248,451,000	234,350,600	14,100,400	
1 教育事業費支出	25,653,000	0	0	25,653,000	21,705,181	3,947,819	
役員報酬支出	393,000	3,000	0	396,000	395,486	514	
給料手当支出	16,238,000	△ 3,000	0	16,235,000	14,386,460	1,848,540	
福利厚生費支出	3,009,000	0	0	3,009,000	2,560,802	448,198	
報償費支出	1,614,000	0	0	1,614,000	1,332,302	281,698	
旅費交通費支出	93,000	0	0	93,000	51,740	41,260	
通信運搬費支出	124,000	0	0	124,000	69,503	54,497	
消耗品費支出	839,000	0	0	839,000	470,099	368,901	
印刷製本費支出	44,000	0	0	44,000	37,400	6,600	
光熱水費支出	42,000	0	0	42,000	18,559	23,441	
使用料及び賃借料支出	843,000	0	0	843,000	749,957	93,043	
車両経費支出	923,000	0	0	923,000	667,707	255,293	
保険料支出	168,000	0	0	168,000	89,185	78,815	
手数料支出	4,000	0	0	4,000	2,140	1,860	
食糧費支出	717,000	0	0	717,000	475,376	241,624	
負担金支出	533,000	0	0	533,000	379,600	153,400	
雑支出	69,000	0	0	69,000	18,865	50,135	
2 水族館管理運営 事業費支出	208,382,000	14,416,000	0	222,798,000	212,645,419	10,152,581	
役員報酬支出	1,179,000	8,000	0	1,187,000	1,186,458	542	
給料手当支出	62,524,000	0	0	62,524,000	60,285,957	2,238,043	
賃金支出	1,523,000	150,000	0	1,673,000	1,532,300	140,700	
退職給付支出	0	333,000	0	333,000	332,424	576	
福利厚生費支出	11,913,000	0	0	11,913,000	10,244,309	1,668,691	

備	考
教育事業費支出の説明	
・人件費	17,342,748
職員        3人	
・車両リース等車両経費	664,231
・緑の村キャンプ大会経費	477,825
・夏休み自然体験教室経費	228,926
・冬休み体験教室経費	547,289
・サーモンツアー経費	101,000
・サケふるセミナー等経費	17,195
・ジュニア・シニアリーダー活動事業経費	437,877
・体験学習経費	146,194
・青少年育成推進員経費	916,102
・ちとせの子どもクリスマスの集い経費	79,158
・ちとせっ子雪あそび経費	101,379
・子ども会関係経費	374,820
・その他経費	270,437
水族館管理運営事業費支出の説明	
・人件費	73,581,448
職員・会計年度雇用職        16人	61,472,415
パートタイマー                2人	1,532,300
退職金                        2人	332,424
福利厚生費	10,244,309

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a) - (b)	
							中 科 目
							小 科 目
会議費支出	60,000	0	0	60,000	25,000	35,000	
旅費交通費支出	2,879,000	50,000	0	2,929,000	2,797,366	131,634	
通信運搬費支出	1,083,000	0	0	1,083,000	859,195	223,805	
備品費支出	391,000	2,000,000	0	2,391,000	2,376,793	14,207	
消耗品費支出	8,368,000	△ 1,550,000	0	6,818,000	5,619,092	1,198,908	
修繕費支出	23,705,000	17,000,000	0	40,705,000	40,344,695	360,305	
印刷製本費支出	687,000	0	0	687,000	588,940	98,060	
光熱水費支出	37,922,000	△ 8,225,000	0	29,697,000	28,509,834	1,187,166	
使用料及び賃借料支出	2,782,000	△ 200,000	0	2,582,000	2,418,278	163,722	
車両経費支出	2,472,000	0	0	2,472,000	2,084,151	387,849	
保険料支出	2,134,000	0	0	2,134,000	2,005,715	128,285	
手数料支出	1,763,000	850,000	0	2,613,000	2,564,122	48,878	
諸謝金支出	356,000	0	0	356,000	271,136	84,864	
交際費支出	50,000	0	0	50,000	16,986	33,014	
食糧費支出	50,000	0	0	50,000	42,109	7,891	
宣伝広告費支出	12,081,000	3,600,000	0	15,681,000	14,509,899	1,171,101	
イベント費支出	4,088,000	△ 500,000	0	3,588,000	3,506,840	81,160	
委託料支出	16,522,000	△ 800,000	0	15,722,000	15,567,710	154,290	
原材料費支出	330,000	0	0	330,000	265,589	64,411	
租税公課支出	11,785,000	1,700,000	0	13,485,000	13,396,386	88,614	
負担金支出	1,233,000	0	0	1,233,000	964,000	269,000	
雑支出	502,000	0	0	502,000	330,135	171,865	
事業活動支出計(B)	234,035,000	14,416,000	0	248,451,000	234,350,600	14,100,400	
事業活動収支差額(A) - (B) (C)	21,918,000	5,085,000	0	27,003,000	26,988,998	14,002	

備	考
水族館管理運営事業費支出の説明	
・施設維持管理経費	48,170,016
・宣伝活動経費	18,748,130
・租税公課	13,396,386
・クーポン券等手数料	2,564,122
・展示魚収集飼育経費	2,791,113
・入場券印刷経費	1,190,554
・車両リース等経費	2,084,151
・イベント開催経費	3,506,840
・電話郵便等通信費	793,778
・電気・機械設備等修繕費	40,344,695
・調査研究経費	366,790
・その他経費	5,107,396

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	
							中 科 目
							小 科 目
<b>Ⅱ 投資活動収支の部</b>							
1 投資活動収入							
① 特定資産取崩収入	40,100,000	△ 18,208,000	0	21,892,000	21,891,454	546	
1 退職給付引当 資産取崩収入	0	200,000	0	200,000	199,454	546	
2 減価償却引当 資産取崩収入	16,800,000	△ 15,073,000	0	1,727,000	1,727,000	0	
3 修繕料引当 資産取崩収入	23,300,000	△ 3,335,000	0	19,965,000	19,965,000	0	
投資活動収入計(D)	40,100,000	△ 18,208,000	0	21,892,000	21,891,454	546	
2 投資活動支出							
① 特定資産取得支出	43,898,000	0	0	43,898,000	43,877,355	20,645	
1 退職給付引当 資産取得支出	1,898,000	0	0	1,898,000	1,877,355	20,645	
2 減価償却引当 資産取得支出	18,000,000	0	0	18,000,000	18,000,000	0	
3 修繕料引当 資産取得支出	24,000,000	0	0	24,000,000	24,000,000	0	
② 固定資産取得支出	18,120,000	△ 13,123,000	0	4,997,000	4,908,200	88,800	
1 建物附属設備取得支出	5,390,000	△ 5,390,000	0	0	0	0	
2 機械装置取得支出	12,210,000	△ 12,210,000	0	0	0	0	
3 什器・備品購入支出	520,000	4,477,000	0	4,997,000	4,908,200	88,800	
投資活動支出計(E)	62,018,000	△ 13,123,000	0	48,895,000	48,785,555	109,445	
投資活動収支差額(D)-(E) (F)	△ 21,918,000	△ 5,085,000	0	△ 27,003,000	△ 26,894,101	△ 108,899	
<b>Ⅲ 財務活動収支の部</b>							
1 財務活動収入							
財務活動収入計(G)	0	0	0	0	0	0	
2 財務活動支出							
財務活動支出計(H)	0	0	0	0	0	0	
財務活動収支差額(G)-(H) (I)	0	0	0	0	0	0	
当期収支差額 (C) + (F) + (I) 【A】	0	0	0	0	94,897	△ 94,897	
前期繰越収支差額 【B】	0	0	0	0	104,010	△ 104,010	
次期繰越収支差額 【A】 + 【B】	0	0	0	0	198,907	△ 198,907	





## V 収支計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

### ○ 法人会計

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a) - (b)
中 科 目						
小 科 目						
<b>I 事業活動収支の部</b>						
<b>1 事業活動収入</b>						
② 特定資産運用収入	0	0	0	0	18	△ 18
1 特定資産利息収入	0	0	0	0	18	△ 18
⑤ 補助金等収入	12,474,000	0	0	12,474,000	11,175,263	1,298,737
1 管理費補助金収入	12,367,000	0	0	12,367,000	11,073,967	1,293,033
2 特定資産取得補助金収入	107,000	0	0	107,000	101,296	5,704
事業活動収入計(A)	12,474,000	0	0	12,474,000	11,175,281	1,298,719
<b>2 事業活動支出</b>						
② 管理費支出	12,367,000	0	0	12,367,000	11,073,985	1,293,015
1 一般管理費支出	12,367,000	0	0	12,367,000	11,073,985	1,293,015
役員報酬支出	3,349,000	△ 250,000	0	3,099,000	2,596,116	502,884
給料手当支出	3,855,000	150,000	0	4,005,000	3,973,663	31,337
福利厚生費支出	1,097,000	100,000	0	1,197,000	1,080,985	116,015
会議費支出	20,000	0	0	20,000	9,414	10,586
通信運搬費支出	23,000	0	0	23,000	7,000	16,000
消耗品費支出	55,000	0	0	55,000	41,250	13,750
光熱水費支出	2,179,000	0	0	2,179,000	1,648,058	530,942
使用料及び賃借料支出	729,000	0	0	729,000	728,200	800
保険料支出	119,000	0	0	119,000	112,855	6,145
諸謝金支出	596,000	0	0	596,000	595,980	20
租税公課支出	332,000	0	0	332,000	277,714	54,286
雑支出	13,000	0	0	13,000	2,750	10,250
事業活動支出計(B)	12,367,000	0	0	12,367,000	11,073,985	1,293,015
事業活動収支差額(A)-(B) (C)	107,000	0	0	107,000	101,296	5,704



(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a) - (b)	
							中 科 目
							小 科 目
II 投資活動収支の部							
1 投資活動収入							
投資活動収入計(D)	0	0	0	0	0	0	
2 投資活動支出							
① 特定資産取得支出	107,000	0	0	107,000	101,296	5,704	
1 退職給付引当 資産取得支出	107,000	0	0	107,000	101,296	5,704	
投資活動支出計(E)	107,000	0	0	107,000	101,296	5,704	
投資活動収支差額(D) - (E) (F)	△ 107,000	0	0	△ 107,000	△ 101,296	△ 5,704	
当期収支差額(C) + (F) 【A】	0	0	0	0	0	0	
前期繰越収支差額 【B】	0	0	0	0	0	0	
次期繰越収支差額 【A】 + 【B】	0	0	0	0	0	0	

備 考



## VI 収支計算書に対する注記

### ○ 総括

#### 1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、仮払金、未払金、前受金、預り金、仮受金を含めることにしている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

#### 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	43,901,343	57,998,241
未収金	2,508,666	3,228,242
合計	46,410,009	61,226,483
未払金	45,130,751	59,058,119
前受金	153,177	78,924
預り金	1,022,071	1,890,533
合計	46,305,999	61,027,576
次期繰越収支差額	104,010	198,907

# 令和5年度監査報告書

公益財団法人千歳青少年教育財団

理事長 入口博美 殿

令和6年5月10日

公益財団法人千歳青少年教育財団

監 事

公益財団法人千歳青少年教育財団

監 事

監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を読覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。



## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。



## 参 考 资 料

(参考資料)

令和5年度 正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで  
公益財団法人 千歳青少年教育財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			法人会計 (管理費)	内部取引 消 去	合 計 (A)	令和4年度 決 算(B)	増 減 (A-B)
	教育事業 (公1)	水族館事業 (公2)	共通					
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益	0	0	199	199	0	199	200	△ 1
基本財産受取利息	0	0	199	199	0	199	200	△ 1
② 特定資産運用益	55	13,920	0	13,975	18	13,993	7,119	6,874
特定資産受取利息	55	13,920	0	13,975	18	13,993	7,119	6,874
③ 事業収益	757,830	121,432,994	0	122,190,824	0	122,190,824	126,883,503	△ 4,692,679
教育事業収入	757,830	0	0	757,830	0	757,830	321,920	435,910
水族館管理運営事業収入	0	119,584,494	0	119,584,494	0	119,584,494	124,929,183	△ 5,344,689
体験料収入	0	1,848,500	0	1,848,500	0	1,848,500	1,632,400	216,100
④ 受取会費	0	11,022,500	0	11,022,500	0	11,022,500	12,054,000	△ 1,031,500
個人会員会費	0	9,872,500	0	9,872,500	0	9,872,500	10,854,000	△ 981,500
法人会員会費	0	1,150,000	0	1,150,000	0	1,150,000	1,200,000	△ 50,000
⑤ 受取補助金等	21,249,415	98,960,155	0	120,209,570	11,175,263	131,384,833	117,517,232	13,867,601
教育事業補助金収入	20,947,296	0	0	20,947,296	0	20,947,296	20,504,298	442,998
水族館運営事業補助金収入	0	62,975,000	0	62,975,000	0	62,975,000	70,551,000	△ 7,576,000
管理費補助金	0	0	0	0	11,073,967	11,073,967	10,364,702	709,265
地方公共団体補助金(退職給付分)	302,119	1,575,236	0	1,877,355	101,296	1,978,651	2,192,931	△ 214,280
受取補助金等振替額	0	34,409,919	0	34,409,919	0	34,409,919	13,904,301	20,505,618
⑥ 雑収益	0	312,449	0	312,449	0	312,449	3,238,287	△ 2,925,838
運用財産利息収入	0	637	0	637	0	637	505	132
雑収益	0	311,812	0	311,812	0	311,812	3,237,782	△ 2,925,970
⑦ 受取寄付金	0	0	0	0	0	0	295,000	△ 255,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	255,000	△ 255,000
経常収益計	22,007,300	231,742,018	199	253,749,517	11,175,281	264,924,798	259,955,341	4,969,457
(2) 経常費用								
① 事業費	22,334,462	244,251,472	0	266,585,934	0	266,585,934	249,737,614	16,848,320
役員報酬	395,486	1,186,458	0	1,581,944	0	1,581,944	1,271,556	310,388
給料手当	13,508,427	56,748,508	0	70,256,935	0	70,256,935	68,304,507	1,952,428
賞金	0	1,532,300	0	1,532,300	0	1,532,300	1,137,860	394,440
賞与引当繰入額	915,740	3,529,889	0	4,445,629	0	4,445,629	4,415,482	30,147
退職給付費用	302,119	1,708,206	0	2,010,325	0	2,010,325	2,046,790	△ 36,465
福利厚生費	2,560,802	10,244,309	0	12,805,111	0	12,805,111	12,092,029	713,082
報償費	1,332,302	0	0	1,332,302	0	1,332,302	1,177,137	155,165
会議費	0	25,000	0	25,000	0	25,000	17,000	8,000
旅費交通費	51,740	2,797,366	0	2,849,106	0	2,849,106	2,626,233	222,873
通信運搬費	69,503	859,195	0	928,698	0	928,698	940,128	△ 11,430
減価償却費	289,455	30,237,831	0	30,527,286	0	30,527,286	31,293,263	△ 765,977
備品費	0	2,376,793	0	2,376,793	0	2,376,793	2,514,299	△ 137,506
消耗品費	470,099	5,619,092	0	6,089,191	0	6,089,191	7,202,278	△ 1,113,087
修繕費	0	40,344,695	0	40,344,695	0	40,344,695	31,701,550	8,643,145
印刷製本費	37,400	588,940	0	626,340	0	626,340	360,624	265,716
光熱水費	18,559	28,509,834	0	28,528,393	0	28,528,393	30,287,062	△ 1,758,669
使用料及び賃借料	749,957	2,418,278	0	3,168,235	0	3,168,235	2,583,601	584,634
車両経費	667,707	2,084,151	0	2,751,858	0	2,751,858	3,517,926	△ 766,068

科 目	公益目的事業会計				法人会計 (管理費)	内部取引 消 去	合 計 (A)	令和4年度 決 算(B)	増 減 (A-B)
	教育事業 (公1)	水族館事業 (公2)	共通	小計					
保険料	89,185	2,005,715	0	2,094,900	0	0	2,094,900	1,674,977	419,923
手数料	2,140	2,564,122	0	2,566,262	0	0	2,566,262	2,198,197	368,065
諸謝金	0	271,136	0	271,136	0	0	271,136	231,813	39,323
交際費	0	16,986	0	16,986	0	0	16,986	117,850	△ 100,864
食糧費	475,376	42,109	0	517,485	0	0	517,485	308,709	208,776
広告宣伝費	0	14,509,899	0	14,509,899	0	0	14,509,899	13,377,817	1,132,082
イベント費	0	3,506,840	0	3,506,840	0	0	3,506,840	2,776,883	729,957
委託料	0	15,567,710	0	15,567,710	0	0	15,567,710	15,099,284	468,426
原材料費	0	265,589	0	265,589	0	0	265,589	203,903	61,686
相模公課	0	13,396,386	0	13,396,386	0	0	13,396,386	8,519,346	4,877,040
負担金	379,600	964,000	0	1,343,600	0	0	1,343,600	1,382,100	△ 38,500
雑費	18,865	330,135	0	349,000	0	0	349,000	357,410	△ 8,410
②管理費									
役員報酬				11,679,200			11,679,200	11,074,675	604,525
給料手当				2,385,589			2,385,589	2,013,410	372,179
賞与引当繰入額				3,682,170			3,682,170	3,627,536	54,634
退職給付費用				518,870			518,870	502,020	16,850
福利厚生費				101,296			101,296	146,141	△ 44,845
会議費				1,080,985			1,080,985	988,299	92,686
通信運搬費				9,414			9,414	11,202	△ 1,788
減価償却費				7,000			7,000	10,600	△ 3,600
消耗品費				487,069			487,069	509,693	△ 22,624
光熱水費				41,250			41,250	51,260	△ 10,010
使用料及び賃借料				1,648,058			1,648,058	1,740,700	△ 92,642
保険料				728,200			728,200	587,400	140,800
諸謝金				112,855			112,855	91,590	21,265
租税公課				595,980			595,980	514,360	81,620
雑費				277,714			277,714	277,714	0
経常費用計	22,334,462	244,251,472	0	266,585,934			266,585,934	260,812,289	17,452,845
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 327,162	△ 12,509,454	199	△ 12,836,417			△ 12,836,417	△ 856,948	△ 12,483,388
当期経常増減額	△ 327,162	△ 12,509,454	199	△ 12,836,417			△ 12,836,417	△ 856,948	△ 12,483,388
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
受取補助金振替額			1	1			1	0	1
経常外収益計	0	1	0	1			1	0	1
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	1	0	1			1	0	1
経常外費用計	0	1	0	1			1	0	1
当期経常外増減額	0	0	0	0			0	0	0
他会計振替額									
当期一般正味財産増減額	△ 327,162	△ 12,509,454	199	△ 12,836,417			△ 12,836,417	△ 856,948	△ 12,483,388
一般正味財産期首残高	-	-	-	-			-	245,292,996	△ 856,948
一般正味財産期末残高	-	-	-	-			-	244,436,048	△ 13,340,336
II. 指定正味財産増減の部									
受取補助金等									
受取地方公共団体補助金	0	42,000,000	0	42,000,000			42,000,000	37,000,000	5,000,000
一般正味財産への振替額	0	34,409,920	0	34,409,920			34,409,920	13,904,301	20,505,619
当期指定正味財産増減額	0	7,590,080	0	7,590,080			7,590,080	23,095,699	△ 15,505,619
指定正味財産期首残高	-	-	-	-			-	238,326,766	23,095,699
指定正味財産期末残高	-	-	-	-			-	261,422,465	23,095,699
III. 正味財産期末残高	-	-	-	-			-	505,858,513	△ 5,750,256